

マタイ 35

主に託された 使命に生きよう

マタイ福音書14章1～13節

バプテスマのヨハネの死

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 洗礼者ヨハネの死 14:1～13

II. 洗礼者ヨハネの使命

III. まとめと適用

主に託された使命に生きよう





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

バプテスマ
荒野の誘惑
弟子の召命
宣教開始
メシア的奇跡
安息日論争

た
と
え
話
五千人の食事
ペトロの信仰告白
山上の変容
最後の弟子訓練
エルサレム入城
最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



いよいよ、十字架の受難へ向かう メシア

- イスラエルは、公的にイエスを拒絶。
イエスの殺害計画も企てられていく。(マタイ12:14)
- イエスは、迫る受難を一人感じ取っていただろう。
「彼は叫ばず、言い争わず、通りでその声を聞かせない。
傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すことも
なく、真実をもってさばきを執り行う。イザヤ42:2～3」

獄中からのヨハネの問い

■ 洗礼者ヨハネは、獄中から弟子をイエスに遣わした。

「おいでになるはずの方はあなたですか」 ➡ヨハネすら不安に!!

■ イエスは、ご自身こそメシアだと伝え、ヨハネを励まされた。

「目の見えない者たちが見、足の不自由な者たちが歩き、ツァラアトに冒された者たちがきよめられ、耳の聞こえない者たちが聞き、死人たちが生き返り、貧しい者たちに福音が伝えられています。

だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。マタ11:5～6」

ヨハネに約束されていた メシアの先駆者の働き

■ザカリヤへの天使ガブリエルの御告げ ルカ1:14~17

その子はあなたにとって、あふれるばかりの喜びとなり、多くの人もその誕生を喜びます。

その子は主の御前に大いなる者となるからです。彼はぶどう酒や強い酒を決して飲まず、まだ母の胎にいるときから聖霊に満たされ、イスラエルの子らの多くを、彼らの神である主に立ち返らせます。

彼はエリヤの霊と力で、主に先立って歩みます。父たちの心を子どもたちに向けさせ、不従順な者たちを義人の思いに立ち返らせて、主のために、整えられた民を用意します。」

バプテスマのヨハネとは？

- 生まれながら主に献げられたナジル人(誓願者)
- エリヤの霊と力で、**メシアの道備え**をする(先駆者)。
- ➡ イスラエルを悔い改めさせ、メシアを待望する信仰へ

受難のメシアの先駆者にも、大きな苦難が待っている!!



Ⅰ. バプテスマのヨハネの死

マタイ福音書14:1～13

マカイロス要塞

マカイロス要塞

- 死海の東岸にある要塞。
ヘロデ大王が築き、
領主ヘロデ・アンティパスの居城に
- 死海の海面から1,100mの高さ。
四方は深い谷。天然の要害。
豪壮な宮殿には、広い中庭、浴室。
多数の貯水槽も。



本編

恐れるヘロデ マタイ14:1～2

そのころ、領主ヘロデ*はイエスのうわさ*を聞いて、家来たちに言った。「あれはバプテスマのヨハネだ。彼が死人の中からよみがえったのだ。だから、奇跡を行う力が彼のうちに働いているのだ。」

*ヘロデ・アンティパス…ヘロデ大王の息子

*イエスの奇跡の噂。ヨハネは奇跡は行わず。

「ヨハネは何もしるしを行わなかったが、この方についてヨハネが話したことはすべて真実であった。ヨハネ 10:41」

■ヘロデの後ろめたさから生じた不安だろう。



本編 ヨハネの投獄 14:3～4

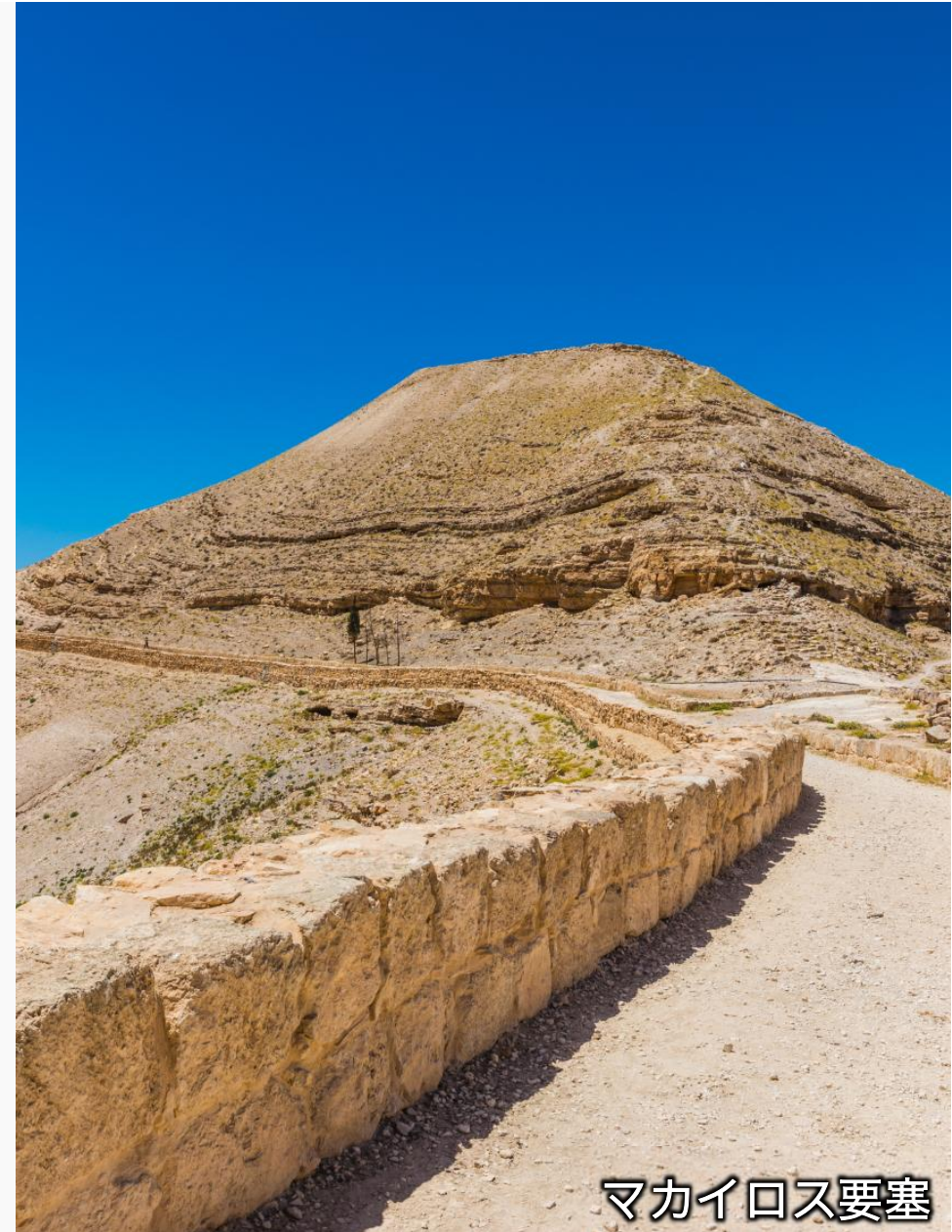
実は、以前このヘロデは、自分の兄弟
ピリポの妻ヘロディア*のことでヨハ
ネを捕らえて縛り、牢に入れていた*。

*ヘロデ大王の息子と姪の間の子。

そもそもが近親婚。

*2年は投獄されていたらしい…

■ヘロデは、兄弟の妻を略奪。



マカイロス要塞

本編

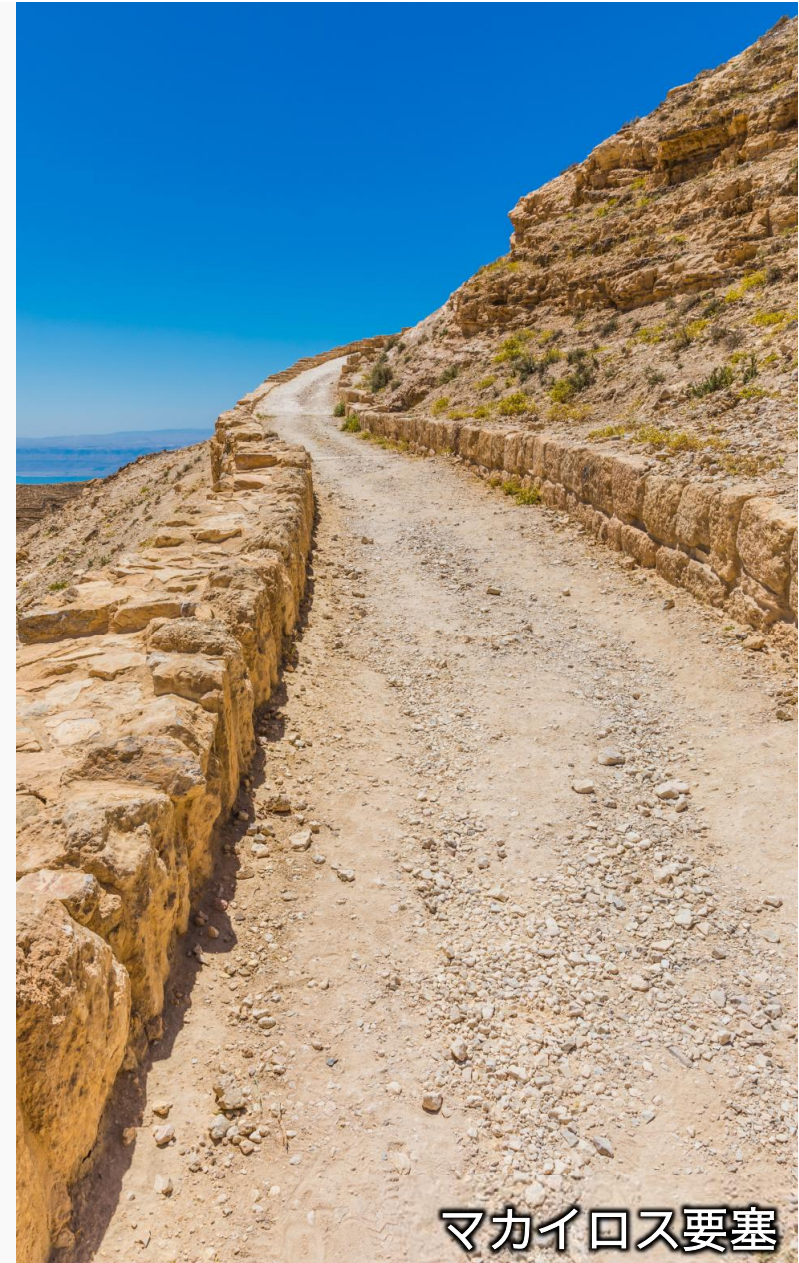
ヨハネの非難 マタイ14:4

ヨハネが彼に、「あなたが彼女を自分のものにすることは律法にかなっていない*」と言いつづけたからであった。

＊律法で明確に禁止、呪いも…レビ記20:21
「人がもし、自分の兄弟の妻をめとるなら、それは忌まわしいことだ。彼はその兄弟の裸をあらわにしたのである。彼らは子のいない者となる。レビ20:21」

■ アンティパスに子はいなかった?!

…サロメは、ヘロディアの連れ子



マカイロス要塞

本編

ヘロデの願望 マタイ14:5

ヘロデはヨハネを殺したいと思ったが、民衆を恐れた。彼らがヨハネを預言者と認めていたからであった。

- ヘロデは、ヨハネを支持する民衆から反感を買うことを恐れていた。
- 暴動が起きれば、施政者のローマに責任を問われ、地位を失いかねない。



マカイロス要塞

並行記事

殺意と当惑 マルコ6:19～20

ヘロディアはヨハネを恨み、彼を殺したいと思いながら、できずにいた。

それは、ヨハネが正しい聖なる人*だと知っていたヘロデが、彼を恐れて保護し、その教えを聞いて非常に当惑しながらも、喜んで耳を傾けていた*からである。

*神の律法を遵守する、神の目に正しい人

*ヨハネの教えの正しさを理解していた

➡だからこそ、責任も重大!!



マカイロス要塞

本編

サロメの踊り マタイ14:6

ところが、ヘロデの誕生祝いがあり、ヘロディアの娘が皆の前で踊り*を踊ってヘロデを喜ばせた。

「ところが、良い機会が訪れた。ヘロデが自分の誕生日に、重臣や千人隊長、ガリラヤのおもだった人たちを招いて、祝宴を設けた時のことであった。マル6:21」

＊踊りは、元来、神にささげるもの

➡唯一の神にささげるのか？（信仰）

➡偶像の神にささげるのか？（欲望）



マカイロス要塞再現図・中庭

本編 娘の願い マタイ14:7～8

それで彼は娘に誓い、求める物は何でも与えると約束した*。

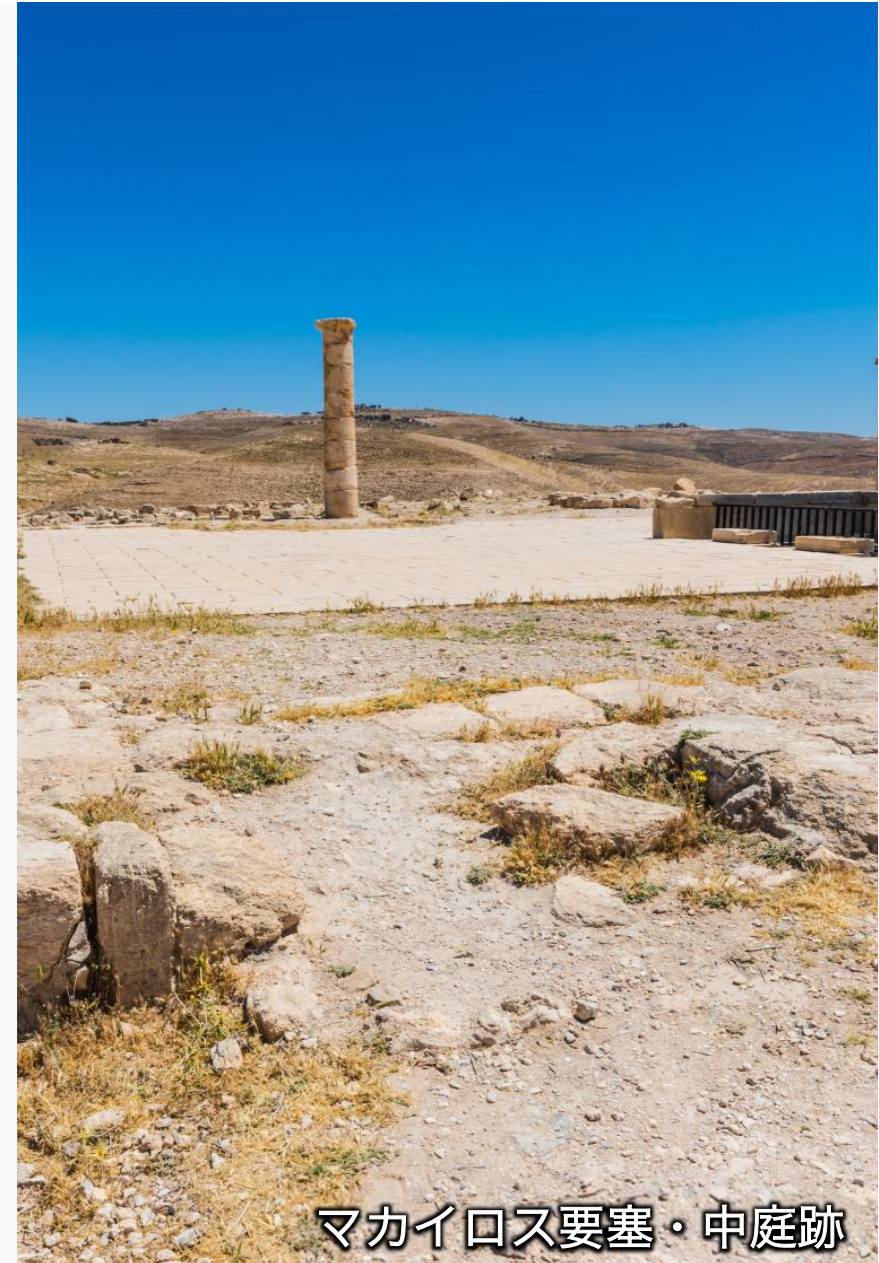
すると、娘は母親にそそのかされて、
「今ここで、バプテスマのヨハネの首を
盆に載せて私に下さい」と言った。

“「おまえが願う物なら、私の国の半分でも与えよう」と堅く誓った。マルコ6:23“

*言われた通りを願うのは非礼(中東流)

■ 背後で糸を引いていたのはヘロディア。

➡ さらにその背後には？



マカイロス要塞・中庭跡

本編 ヨハネの死 マタイ14:9～11

王は心を痛めたが、自分が誓ったことであり、列席の人たちの手前もあって、与えるように命じ、人を遣わして、牢の中でヨハネの首をはねさせた。

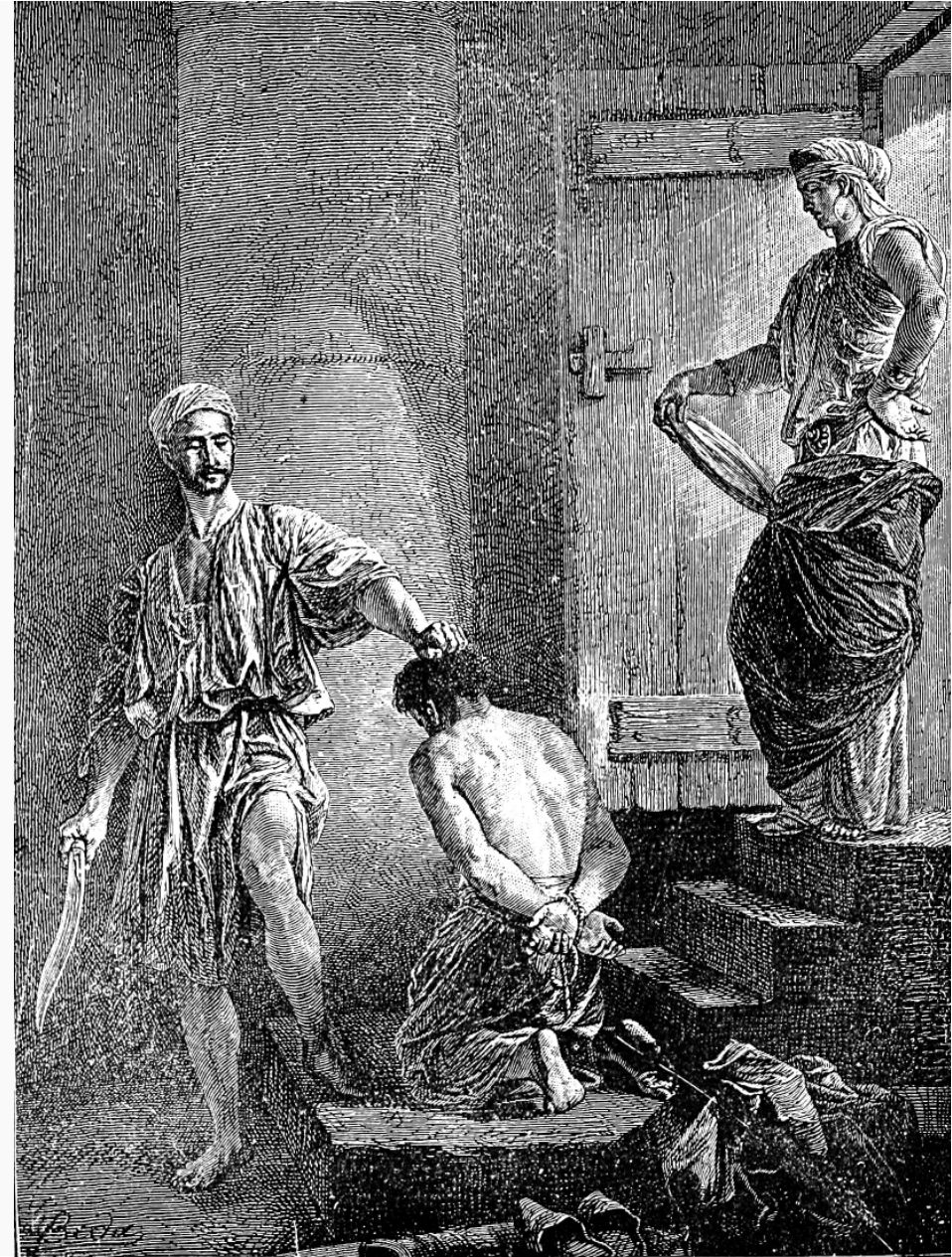
その首は盆に載せて運ばれ、少女に与えられたので、少女はそれを母親のところに持って行った。

■ 同情はした王だが、行動は非道。

断る権威も口実もあった。

詰まるところは、自己保身と虚栄心

➡ 夫の性質をヘロディアは熟知



本編

訃報 マタイ14:12～13

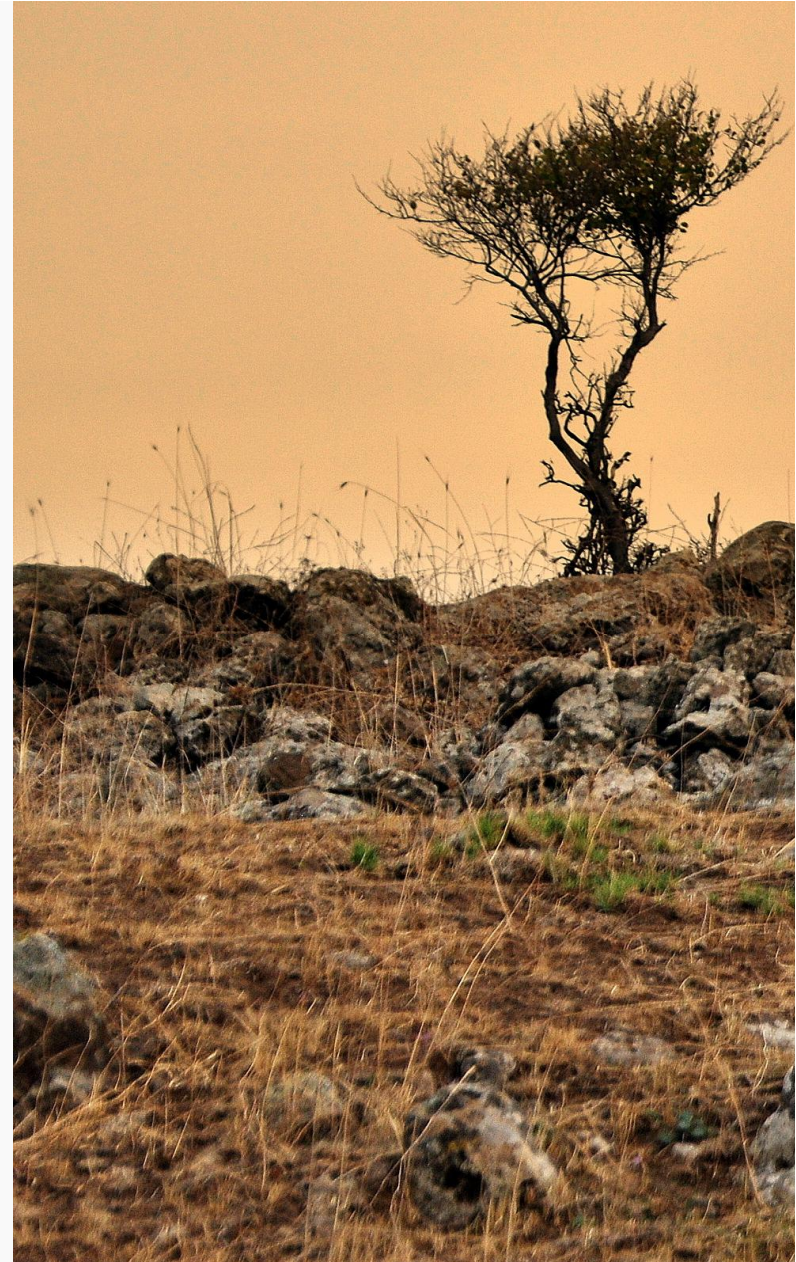
それから、ヨハネの弟子たちがやって来て遺体を引き取り、葬った。そして、イエスのところに行って報告した。

それを聞くと、イエスは舟でそこを去り、**自分だけで寂しいところに行かれた。**群衆はそれを聞き、町々から歩いてイエスの後を追った。

■ 一人、祈られるイエス。

先駆者が殺されたのなら、次は…。

➡メシア自身の受難も迫っている





Ⅲ. 洗礼者ヨハネの使命

マカイロス要塞

先駆者としてのヨハネの使命

■ザカリヤの預言 ルカ1:76～77

「幼子よ、あなたこそいと高き方の預言者と呼ばれる。
主の御前を先立って行き、その道を備え、罪の赦しに
よる救いについて、神の民に、知識を与えるからである」

■イスラエルの民を悔い改めに導く、メシアの道備え。

➡メシアが現れたら、きれいに退かなければならない。

「あの方は盛んになり、私は衰えなければなりません。

ヨハネ3:30」

先駆者に示されていた苦難

■ザカリヤの預言 ルカ1:78

「これは私たちの神の深いあわれみによる。そのあわれみにより、**曙の光**が、いと高き所から私たちに訪れ、**暗闇と死の陰**に住んでいた者たちを照らし、私たちの足を平和の道に導く。」

■先駆者が遣わされるのは、**暗闇と死の影**のただ中。

➡メシアを告げる最後の預言者には、迫害を受けた歴代の預言者にもまさる、大きな苦難が!!

メシアこそ、待ち望むべき光

■ザカリヤの預言 ルカ1:78

「これは私たちの神の深いあわれみによる。そのあわれみにより、**曙の光**が、いと高き所から私たちに訪れ、暗闇と死の陰に住んでいた者たちを照らし、私たちの足を平和の道に導く。」

■先駆者の使命は、メシアの輝きを妨げないこと。
たとえ自らが、暗闇と死の影に身を置いても。

最期の預言者としてのヨハネの働き

■先駆者ヨハネの直言 ヨハネ3:7～9

「まむしの子孫たち、だれが、迫り来る怒りを逃れるようにと教えたのか。それなら、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。あなたがたは、『われわれの父はアブラハムだ』と心の中で思っているではありません。言っておきますが、神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子らを起こすことができるのです。

■神の民のプライドも捨て、主を恐れ、悔い改めよ。

えぐるような言葉で、人々に回心を迫ったヨハネ。

➡相手が王でも、一切忤度しなかった!!

試練のただ中にあるヨハネへの慰め

「おいでになるはずの方はあなたですか。それとも、別の方を待つべきでしょうか。マタイ11:3」

■ 自分は獄中、メシアには敵意。不安に陥ったヨハネ。イエスは、ヨハネを慰め、励まし、人々に告げた。

「女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネより偉大な者は現れませんでした。マタイ11:11」

➡ヨハネは、歴代の預言者以上の者、メシアの先駆者

ヨハネの最期に思うこと

- 首を盆に載せられ、衆目の前で辱められたヨハネ。
が、誰もヨハネの尊厳に傷をつけることはできない。
- ヨハネの最期は、主の平安に満たされていただろう。
- メシアが、ヨハネの働きを認めてくださった。
先駆者である自分の死は、メシアが、間もなく、
救いの御業を完成される、最期の備え・働きなのだと。

ヨハネの訃報を聞いた、主イエスの覚悟

「それを聞くと、イエスは舟でそこを去り、
自分だけで寂しいところに行かれた。マタイ14:13」

先駆者ヨハネは、与えられた働きを果たし、
メシアは、いよいよ十字架の受難に向かって行かれる。



V. まとめと適用

主に託された使命に生きよう

マカイロス要塞

今の時代のクリスチャンの使命とは？

- ヨハネの使命・働きは、
最後の預言者、メシアの先駆者
→ 人々を悔い改めに導き、
メシアを受け入れる備えをさせる
- では、今の時代に遣わされている、
私たちの使命は何か？

バプテスマのヨハネ以上の偉大さとは？

「まことに、あなたがたに言います。女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネより偉大な者は現れませんでした。しかし、**天の御国で一番小さい者***でさえ、彼より偉大です。マタイ11:11」

＊地上における神の国、教会を形作る信仰者一人一人。

■ 主の認める偉大さは、担わされた働きに相応するもの

私たちクリスチャンに担わされた主の働きとは？

どの時代にもまさる、教会時代の信者の働きとは？

■主イエスの弟子への命令 マルコ15:15～16

「全世界に出て行き、すべての造られた者に**福音**を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。」

■弟子たちが伝えた**福音**の正しさは、しるしが証明。

➡弟子たちへの主イエスの命令は、私たちに対しても

福音を信じた私たちも、福音宣教へ押し出されている!!

祝福に伴う、試練がある?!

■旧約時代の誰よりも「偉大」とされた私たちには、
当然、旧約時代以上の苦難と試練が待ち受けている。

■主イエスは、ペテロに告げられた。ヨハネ21:17~18

「わたしの羊を飼いなさい。まことに、まことに、あなたに言います。あなたは若いときには、自分で帯をして、自分の望むところを歩きました。しかし年をとると、あなたは両手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をして、**望まないところ**に連れて行きます。」

➡自分の望みから、**主の望み**へ、変えられていくのが信仰者

使命に伴う、苦難がある?!

■主イエスの使徒の教えを守る私たちにも、使命と試練が。

「**自分の十字架を負って**わたしに従って来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。

自分のいのちを得る者はそれを失い、わたしのために**自分のいのちを失う**者は、それを得るのです。マタ10:38～39」

■私たちは、世にあっては、恥辱を受け、自分の命を失う。

主にあって、新しい命を生きているのが、私たち

すべてのことが益となる、とは？

「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。 ロマ 8:28 」

- 獄中で、ヨハネはヘロデにも主の教えを説き続けた。
- ヨハネの死は、今も強烈に人々の心を惹きつけ続け、多くの人々を、主イエス・キリストに導いている。

主に召され、仕える者と、主はともに働いてくださる

試練からの「脱出の道」とは？

「あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに**脱出の道***も備えていてくださいます。Ⅰコリ 10:13」

「神のみことばをあなたがたに話した指導者たちのことを、思い出しなさい。彼らの**生活の結末***をよく見て、その信仰にならいなさい。ヘブル13:7」

***エクバシン…出口。究極の逃れの道は、御国への道**

試練のヨハネに与えられた、「逃れの道」

■ 獄中のヨハネを襲った、凄惨な苦難。

しかし、主は、究極の「逃れの道」を与えられた。

■ 人の目には悲惨なその死は、主の目には御国への凱旋だ。

ステパノや使徒、殉教者たちにも、究極の「逃れの道」が。

■ 地上の試練、苦難のただ中で、なお平安を与えられる。

希望と力は、約束された永遠の御国からもたらされる。

「逃れの道」は、艱難、苦難、忍耐の末に!!

■ 逃れられない試練がある。

生い立ち、生まれた国、時代は、その最たるものだ。

例) 時代の重さ …戦争の時代、信じる価値観の崩壊
分水嶺を越えた衰退の時代。熊?!

■ 「逃れの道」は、艱難、苦難、忍耐の末に開かれる。

何より、究極の逃れの道、永遠の御国が約束されている。

与えられた試練に 置かれた場で、向き合おう!!

ヨハネが直面していた、激しい戦いを覚えつつ!!

「バプテスマのヨハネの日から今に至るまで、天の御国は激しく攻められています。そして、激しく攻める者たちがそれを奪い取っています。マタイ11:12」

■今の時代、戦いは激しさを増し続けている。
人々をメシアから奪い取るのが、敵の攻撃。
信仰者には、キリストの道を外れさせようと!!

➡歩むべき信仰の道から、逸脱、後退していないか？

御言葉に、兄弟姉妹の忠告に耳を傾けよう!!

★ 託された使命に生きよう ★

- メシアの先駆者としての使命を果たしたヨハネ。
主が、究極の永遠の脱出の道を与えられた。
- 「よくやった、良い忠実なしもべだ」
主の一言が得られるなら、他に何が必要だろう？
- 主が愛する子である私たちに与えられた、
逃れられない試練の道を、歩み通す覚悟を決めよう。
究極の逃れの道、永遠の平安が約束されている。

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

主は、愛する子を訓練されます。世にあっては苦難がありますが、

私たちには、永遠の平安にいたる逃れの道が約束されています。

世の終わりまで共におられる、私たちの主に、信頼します。

与えられた福音宣教の使命をもって、私たちを遣わしてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」